



てき丸君News 第62号

発行：公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

https://www.zensanpairen.or.jp

第9回定時総会を6月13日に開催

当連合会の第9回定時総会を、6月13日に東京・港区元赤坂の明治記念館で開催しました。

今回の定時総会は、一般社団法人石川県産業資源循環協会の村上専務理事の総合司会により進行され、一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の大塚会長による開会宣言でスタートしました。

永井連合会会長の挨拶、来賓として出席された環境省環境再生・資源循環局の山本局長よりご挨拶を頂いたあと、まず第1部の議案審議では、一般社団法人熊本県産業資源循環協会の大野会長を議長に選出し、「平成30年度事業報告並びに平成30年度収支決算承認の件」が審議され満場一致で承認されました。

総会第2部の表彰式では、連合会会長表彰の各賞受賞者として総勢395名の方々が表彰されました。全受賞者を代表して、一般社団法人宮崎県産業資源循環協会の田村様が謝辞を述べました。議案審議及び表彰式を終え、一般社団法人滋賀県産業資源循環協会の木下会長が閉会を宣言し、第9回定時総会は無事閉幕しました。
(総務部・古川)



挨拶する永井会長



●連合会ロゴマークの最優秀作品表彰も●



総会においてお披露目した連合会ロゴマーク（左）は、一般公募作品の中の最優秀作品に選ばれたもので、今回の総会においてロゴマークの最優秀作品賞の表彰を行いました。表彰式では、永井会長から最優秀作品の制作者である李桓（りかん）様に表彰状と副賞が贈呈されました。

●懇親会に多数のご来賓●

総会後の懇親会では、原田環境大臣、秋元環境副大臣、菅家環境大臣政務官をはじめ、多数の国会議員の方々にご挨拶いただきました。その後、中川参議院議員の音頭で乾杯しました。

懇親会の冒頭、永井連合会会長が挨拶し、ご臨席頂いた関係省庁及び関係団体、政界からの多数のご来賓に謝意を表するとともに今後の抱負を述べました。

ご来賓のうち、国会議員の方々は次のとおりです（ご本人のみ。掲載順不同、敬称略）。

○環境大臣：原田義昭、○環境副大臣：あきもと司、○環境大臣政務官：菅家一郎

○産業・資源循環議員連盟議員

<衆議院議員>

野田毅(熊本)、甘利明(神奈川)、逢沢一郎(岡山)、山本有二(高知)、山本公一(愛媛)、高市早苗(奈良)、塩谷立(静岡)、渡辺博道(千葉)、望月義夫(静岡)、井上信治(東京)、吉野正芳(福島)、伊藤信太郎(宮城)、秋葉賢也(宮城)、あきもと司(東京) 平口洋(広島)、盛山正仁(兵庫)、木原稔(熊本)、小田原潔(東京)、工藤彰三(愛知)、門博文(和歌山)、大西宏幸(大阪)、大隈和英(大阪)

<参議院議員>

柳本卓治(大阪)、木村義雄(比例全国区)、衛藤晟一(比例全国区)、石井浩郎(秋田)、中川雅治(東京)、山田俊男(比例全国区)、片山さつき(比例全国区)、松下新平(宮崎)、舞立昇治(鳥取島根)、

○公明党国会議員

<参議院議員> 山口那津男(東京)、<衆議院議員> 高木美智代(東京)

産業・資源循環議員連盟が意見交換会を開催

産業・資源循環議員連盟主催の意見交換会が、6月13日午前11時から衆議院第一議員会館会議室で開催されました。

去る4月24日に田中和徳議連会長から原田環境大臣及び石井国土交通大臣に産業廃棄物処理業に関わる要望並びに提言が行なわれました。この意見交換会では、議連の要望及び提言への対応状況についての環境省による報告のほか、議員連盟、環境省、及び全産連・同政治連盟の意見交換が行われました。（当日の出席者は別掲）



初めに田中議連会長が挨拶に立ち、「廃プラスチック処理は緊急を要す問題である。市町村の条例改正や地域住民への説明など、それぞれ地域の事情があるだろうが、議員連盟の緊急要望を受けて今般発出された環境省通知の周知徹底が重要である。環境省が地方公共団体と調整し、また、産業廃棄物処理業界の皆さんにも力をかりて対応いただきたい。また、以前より取組んできた、人材確保の問題については、外国人労働者がこの産業廃棄物処理業界で堂々と仕事ができる環境をつくることや、若い人が勉強して最初の就職先は資源循環産業の業界にという流れを作っていかなければ、この大切な業界が継続して発展していくことができない。議連としても意識を持って取組んでいく覚悟である。」と述べました。

また、井上信治議連資源循環PT座長より「昨年秋からPTで議論を重ねてきた人材育成と再生品の利用促進、そして産業廃棄物の廃プラスチックの処理について、4月24日に議員連盟として環境大臣に要望・提言を行った。早速、環境省が対応されたことに感謝申し上げる。同省からの報告を聞き、皆さんで意見交換をしていただきたい。」との挨拶がありました。

この他、渡辺博道復興大臣、片山さつき地方創生大臣、あきもと司環境副大臣他20名の議員が出席され、廃プラの対応や人材育成・確保は重要である旨意見を述べられました。

その後、環境省の成田廃棄物規制課長より、議連の環境大臣要望への対応について資料に基づき報告がありました。これを受けて永井全産連会長は、「廃プラスチック処理について環境省が迅速に対応いただき、感謝申し上げます。処理業者が廃プラ対策のため施設整備を行おうとしても、民間の施設整備に対してはなかなか助成金や補助金が見つからないので苦労していることを理解いただき、この点についても今後ご配慮をいただきたい。」と発言しました。
(政治連盟事務局・土井)

別掲：産業・資源循環議員連盟意見交換会 出席者（敬称略・順序不同）

○産業・資源循環議員連盟出席議員

<衆議院議員> 逢沢一郎(岡山)、田中和徳(神奈川)、渡辺博道(千葉)、井上信治(東京)、北村誠吾(長崎)、伊藤信太郎(宮城)、秋葉賢也(宮城)、坂本哲司(熊本) あきもと司(東京)、西村宏明(宮城)、あかま二郎(神奈川)、小倉将信(東京)、平口洋(広島)、木原稔(熊本)、牧原秀樹(埼玉)、小田原潔(東京)、工藤彰三(愛知)、堀内詔子(山梨)、笹川博義(群馬)、大隈和英(大阪)

<参議院議員> 片山さつき(比例全国区)、中西祐介(徳島高知)、中西健治(神奈川)、舞立昇治(鳥取島根)、小籠隆史(滋賀)

○環境省環境再生・資源循環局

山本昌宏(局長)、松澤裕(大臣官房審議官)、成田浩司(廃棄物規制課長)

○全国産業資源循環連合会・同政治連盟

永井良一(全産連会長、愛知県協会会長)、國中賢吉(全産連政治連盟理事長、大阪府協会会長)、鈴木昇(宮城県協会会長)、佐藤俊彦(福島県協会会長)、古矢満(茨城県協会会長)、城田裕司(群馬県協会会長)、杉田昭義(千葉県協会会長)、高橋俊美(東京都協会会長)、藤枝信治(神奈川県協会会長)、青木俊和(新潟県協会会長)、橋正則(富山県協会会長)、毎田正男(石川県協会会長)、粥川長司(岐阜県協会理事長)、井上吉一(三重県協会会長)、鈴木洋佑(静岡県協会会長)、松浦敏明(静岡県協会専務理事)、片瀨昭人(大阪府協会会長)、浜野廣美(大阪府政治連盟理事長)、木下茂(滋賀県協会会長)、川崎勝也(奈良県協会会長)、越生昭徳(鳥取県協会会長)、尾崎俊也(しまね協会会長)、藏本忠男(岡山県政治連盟理事長)、川本義勝(広島県政治連盟理事長)、楨岡達真(広島県協会会長)、西山周(えひめ協会会長)、岸史朗(徳島県協会会長)、松本英高(香川県協会会長)、篠原隆博(佐賀県協会会長)、海野博(長崎県協会会長)、大野羊逸(熊本県協会会長)、加藤晴夫(大分県協会会長)、森下昌勅(大分県協会専務理事)、森谷賢(全産連専務理事)

全国産業資源循環連合会政治連盟第49回理事会を開催

全国産業資源循環連合会政治連盟第49回理事会を、6月13日に明治記念館で開催しました。

会議の冒頭、國中政治連盟理事長が挨拶し、「産業・資源循環議員連盟の田中会長が議連PTの活動報告を踏まえ、4月24日に環境大臣に対して、廃プラ処理に対する緊急要望及び人材の育成・確保並びに再生品の利用促進に関する提言を行った。午前中開催された産業・資源循環政治連盟意見交換会では、環境省がその対応について報告を行ない、意見交換がなされた。我が業界も、当面は議連PTに示された課題について、全産連と協力して議連の先生方の力をお借りし、課題解決に取り組んで成果に結びつけていきたい。また、7月の参議院議員選挙では議連加入の先生方を支援しなければならない。そのためには、当政治連盟の財政基盤をしっかりしたものにする必要がある」と述べました。

当日の議題及び議事の概要は次のとおりです。

①第25回参議院議員通常選挙について

当政治連盟として自民党産業・資源循環議員連盟に所属する候補者、選挙区9名、比例(全国区)5名を推薦・支援をすることに決定いたしました。また、与党公明党の選挙区7名の候補者も推薦することになりました。

②2019年産業・資源循環議員連盟の活動について

③環境大臣、国土交通大臣への産業・資源循環議員連盟からの要望

資料に基づき報告がされました。(大臣要望は、てき丸君News60号に掲載)

④自民党、公明党への令和2年度予算・税制等政策に関する要望

今年度に期限切れとなる最終処分場の維持積立金損金算入措置の継続要望を行なうこととしています。なお、軽油取引税免税措置の中間処理施設への適用を要望することの是非については、最終処分場の既措置との兼ね合いもあり慎重な議論が必要であることから、引き続き検討することになりました。

その他、政治連盟の拠点拡大や支援の寄付等については機会あるごとに、まだ対応のできていない地区にお願いをすべきであると意見が出されました。
(政治連盟事務局・土井)

委員会便り

●安全衛生委員会●

2019年度第1回安全衛生委員会を6月11日に開催しました。

議題は「各正会員における2019年度の労働災害防止計画」、「労働災害事故情報の共有化」、「安全衛生ステッカーの作成」、「次年度の安全衛生事業方針の策定に向けて」でした。会員企業への普及啓発や労働災害の情報収集及び提供方法について審議されました。
(調査部・戒能)

●INDUST 7月号特集「雑品スクラップのその後一法改正後の動向一」●

改正バーゼル法(2018年10月施行)によって、雑品スクラップのうち特定有害使用済機器の明確化がされ、廃電子基板等の輸入の円滑化も図られるようになりました。一方、改正廃棄物処理法(2018年4月施行)では、有害使用済機器を扱う雑品スクラップ業者は都道府県知事への届け出が必要になり、同時に再生利用等事業者等の認定制度創設や電子マニフェスト使用の一部義務化などが図られました。さらに、不法取引があった際の輸出国からの通報で物を持ち帰らなければならないという「シップバック」等についても改正されました。

7月号では改正廃掃法の施行から1年、改正バーゼル法施行から約半年経過した中で、有害使用済機器保管処分届出制度の現在の登録状況や、金属プラスチックの輸出動向、保管時における事故動向、具体的な効果を取り上げ、雑品スクラップ処理のあるべき姿を見つけます。
(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (7月12日~8月28日)

【7月】

- 12日 産業廃棄物処理実務者研修会(静岡)
- 19日 青年部協議会全国大会(高松)
産業廃棄物処理実務者研修会(神奈川)
- 26日 全国正会員事務局責任者会議
- 31日 産業廃棄物処理実務者研修会(宮崎)

【8月】

- 2日 産業廃棄物処理実務者研修会(鹿児島)
- 7日 中部地域協議会
- 27日 青年部協議会幹事会
- 28日 産業廃棄物処理実務者研修会(大分)

連合会からのお知らせ

●書籍発行のお知らせ●

連合会では、以下の書籍を新たに発行しました。

ぜひご活用ください。下記の連合会ホームページからご購入いただけます。

(事業部・日浦)

<https://www.zensanpairen.or.jp/books/>

産業廃棄物埋立処分委託契約書の手引

(A4版・79ページ／令和元年5月発行) 📖

- 適正な埋立処分を確保する観点から、埋立処分専用の委託契約書様式を作成しました。
- 岩田行政書士の逐条解説を掲載、全篇を芝田麻里弁護士が監修。
- 委託基準として定められている基本的事項についても岩田行政書士が解説しており、産業廃棄物を扱うすべての方に役立つ一冊です。
2,000円(税別、送料別)



📖 マニフェストシステムがよくわかる本

(A4版・46ページ／令和元年6月発行)

- マニフェスト制度について、わかりやすく解説しています。廃掃法改正等に対応し、平成28年発行版から一部内容を改訂しました。
600円(税別、送料別)

●新着動画のお知らせ●

廃棄物処理におけるリチウムイオン電池混入の危険性について

(リチウム電池の発火事故の危険性)

リチウムイオン電池は、可燃性の有機溶媒を使い電気を生み出します。

このため、つぶすなどの外圧や、保管時に露天などの腐食が進む環境では、電極を分けているセパレーターが損傷し、ショートによる火花で引火、プラスチックのケースや他の発火物に燃えうつり、火災事故になる危険性があります。

破袋機における検証と事例を盛り込み、分かりやすい動画にしました。ぜひご参照ください。

(事業部・日浦)

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/movies/>



(公社) 全国産業資源循環連合会

人材育成のサポートは連合会にお任せください

ご参加をお待ちしております

全国産業資源循環連合会の人材育成プログラムは、基礎知識から専門的な技術の習得まで、産業廃棄物処理に関わる従事者の技能向上に貢献します。

【2019年度 人材育成プログラム】

後援：
環境省

処理
事業者

廃棄物処理法における委託契約、マニフェスト、帳簿等の確かな理解のため

排出
事業者

実務者研修会
＜7月～2月＞

【全国13会場】

処理
事業者

法令知識の習得、適正処理の業務ため

排出
事業者

eラーニング講座 【ご自宅のPC等を利用】
＜開講：10月16日～＞

処理
事業者

営業と現業管理のため

能力アップセミナー 【2会場：
東京・名古屋】
＜8月～11月＞

処理
事業者

埋立処分場の技術力向上のため

最終処分場維持管理技術研修会
＜11月7日、8日＞

【会場：福岡】

処理
事業者

スキルアップのため

排出
事業者

検定試験
廃棄物処理法
基礎)
＜2月16日＞

上記、研修会 / 試験等の詳細は連合会HPをご覧ください

産廃 人材育成

検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>

お問合せ先：



公益社団法人

全国産業資源循環連合会

TEL 03-3224-0811

住所 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2 ABビル 4階

URL <https://www.zensanpairen.or.jp>

2019.06



2019年度

後援：
環境省

産業廃棄物処理 実務者研修会 ~基礎コース~

排出事業者にも
おすすめ!!

継続学習制度(CPDS)の講習会に認定されました。【(一社)全国土木施工管理技士連合会】

①目的

この研修会は、産業廃棄物を取り扱う方々の実務に必要な廃棄物処理法、委託契約、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿等の産業廃棄物の処理に関する幅広い知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再確認をしていただくことを目的としております。また、来年2月16日(日)に開催される2019年度産業廃棄物処理検定(廃棄物処理法基礎)の受験対策としても役立ちます。

②受講対象

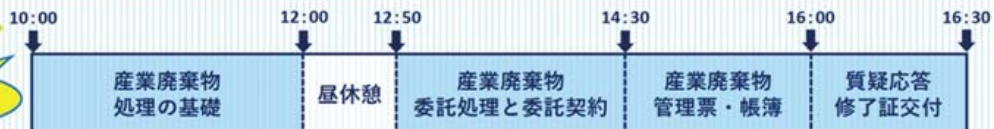
排出事業者及び処理業者における産業廃棄物を取り扱う実務担当者

③開催期間

	開催地	開催期日	会場名	定員
1	千葉県	2019年07月02日(火)	千葉県自治会館	140名
2	神奈川県	2019年07月19日(金)	かながわ労働プラザ	150名
3	宮崎県	2019年07月31日(水)	ニューウェルシティ宮崎	100名
4	鹿児島県	2019年08月02日(金)	鹿児島サンロイヤルホテル	130名
5	大分県	2019年08月28日(水)	大分商工会議所	130名
6	滋賀県	2019年09月13日(金)	ピアザ淡海	150名
7	青森県	2019年10月04日(金)	ウェディングプラザアラスカ	100名
8	熊本県	2019年10月24日(木)	メルパルク熊本	120名
9	群馬県	2019年11月07日(木)	前橋問屋センター	150名
10	宮崎県	2020年01月29日(水)	ニューウェルシティ宮崎	100名
11	東京都	2020年02月04日(火)	飯田橋レインボービル	150名
12	岐阜県	2020年02月05日(水)	OKBふれあい会館	80名
13	広島県	2020年02月10日(月)	広島県情報プラザ	140名

④研修内容

受付9:30~



全ての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。

⑤受講料

7,500円(税抜)【テキスト代を含みます】

⑥受講申込・お問い合わせ先

お申込みは、専用のポータルサイトをご利用ください。

産廃 実務者研修

検索



(公社)全国産業資源循環連合会 事業部
〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4F TEL 03-3224-0811

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>

⑦実施機関・協力機関

【実施機関】(公社)全国産業資源循環連合会

【協力機関】(一社)青森県産業廃棄物協会 (公社)群馬県環境資源創生協会 (一社)千葉県産業資源循環協会
 (一社)東京都産業資源循環協会 (公社)神奈川県産業資源循環協会 (一社)岐阜県産業環境保全協会
 (一社)滋賀県産業資源循環協会 (一社)広島県資源循環協会 (一社)熊本県産業資源循環協会
 (一社)大分県産業資源循環協会 (一社)宮崎県産業資源循環協会 (一社)鹿児島県産業資源循環協会

**後援：
環境省**

2019年度 産業廃棄物処理業従事者



能力アップセミナー開催案内

本セミナーは、産業廃棄物処理の現場に携わり、業界の様子を一通り理解している方（入社3年～5年程度）を対象としたセミナーです。

講義では、産廃処理の業務に携わる方々には是非知っておいてもらいたい基礎知識を習得していただき、ワークショップでは、課題発見能力と問題解決能力の向上を図ります。

皆さまのご参加をお待ちしています。

※ ワークショップとは、与えられた課題を参加者自ら議論し意見をまとめ、提案する体験型講座です。

※ より多くの方が参加いただけるよう、従来2日間で開催していたセミナーを見直し、**本年度は1日に変更して開催します。**

特長

- ・「講義」と受講者が中心となつて行う「ワークショップ」で構成しています。
- ・ワークショップ等により、同業他社の方との人材交流、ビジネスマッチングができます。

開催日時

【開催時間】
9:30～17:40

		8月	9月	10月	11月
東京（連合会）	営業	22(木)		17(木)	21(木)
	現業管理	23(金)		18(金)	22(金)
愛知（吹上ホール）	営業		5(木)		
	現業管理		6(金)		

受講料

15,000円（税抜）

申込み方法

専用ポータルサイトより受付（「産廃 能力アップセミナー」で検索）

主な研修内容

	営業コース	現業管理コース
講義	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃営業に必要な法律知識 ・営業社員に求められる能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・操業管理、設備保全 ・安全衛生管理
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・自社紹介 ・顧客情報の共有 ・ケーススタディ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社紹介 ・安全な現場づくりの研究 ・ケーススタディ

【お問合せ先】



公益社団法人

全国産業資源循環連合会

事業部・能力アップセミナー担当
TEL: 03-3224-0811(9時～17時)
E-mail: event@zensanpairen.or.jp

2019/07

スキルアップを考えている方に必須の試験です!

(公社) 全国産業資源循環連合会

後援：
環境省

産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)



こんな人のニーズにおすすめです

- 人事・管理部門
現場の担当者が業務に必要な知識を身に付けているか、定量的に把握したい方。従業員の人材育成にご活用ください。
- 廃棄物処理担当
廃棄物を処理する上で、実務に必要な正しい知識が身についているかを確認したい方。

この検定に合格すると...

- 合格証明書カードが交付されます。
- きちんとした知識を備えた人材であることの証明になります。
- お客様やクライアントからの要望に対して、より効果的で適確な提案をすることができます。

【試験日時】 令和2年2月16日(日) 10時～11時30分

受験料: 6,500円(税抜)

【受付期間】 令和元年12月4日～令和2年1月17日 (ただし定員になり次第、受付を締め切ります)

【申込方法】 専用ポータルサイトにて申込受付 詳細は連合会ホームページにてご案内いたします

【試験形態】 マークシート方式による筆記試験

【試験範囲】 廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿、保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>

産廃 人材育成

検索

【試験会場(予定)】 全国13会場で同時開催

最寄りの会場をご利用ください

開催場所(定員) 会場名	福島県(150名) コラッセふくしま	茨城県(100名) 茨城県開発公社ビル	栃木県(100名) 関東職業能力開発 大学校
埼玉県(70名) TKP大宮駅西口 カンファレンスセンター	東京都(180名) TKP市ヶ谷 カンファレンスセンター	神奈川県(120名) 神奈川労働プラザ	新潟県(100名) 新潟県建設会館
長野県(70名) 長野バスターミナル会館	静岡県(100名) 静岡商工会議所	愛知県(150名) 名古屋国際会議場	大阪府(80名) 大阪私学会館
広島県(100名) 広島工業大学専門学校	熊本県(120名) ユースピア熊本		

共催:

一般社団法人福島県産業資源循環協会
一般社団法人茨城県産業資源循環協会
公益社団法人栃木県産業資源循環協会
一般社団法人埼玉県環境産業振興協会

公益社団法人神奈川県産業資源循環協会
一般社団法人新潟県産業資源循環協会
一般社団法人長野県資源循環保全協会
公益社団法人静岡県産業廃棄物協会

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会
公益社団法人大阪府産業資源循環協会
一般社団法人広島県資源循環協会
一般社団法人熊本県産業資源循環協会

【お問合せ先】



公益社団法人

全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4階

検定試験担当

TEL: 03-3224-0811 FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

● 営業時間 / 月～金 9:00～17:00

● 定休日 / 土日・祝日

2019.06